

Round 13 | 14 | 15



● Infomation

circuit 岡山国際サーキット (岡山県美作市)
 date 9/14 sat 9/15 sun
 weather 晴れ 雨のち晴れ
 spectators 発表なし

Outline

2024年全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権の Round13・14・15 が9月14日(土)・9月15日(日)に岡山国際サーキットで行われ、小林利徠斗が Round13と Round15 で3位表彰台を獲得し、Round14 ではセーフティカーが2度入る波乱の展開のなか、古谷悠河が3位に入った。野中誠太は Round14 で接触を喫しペナルティを受けるも、その他の2レースで4位に入りランキング2番手を維持。中村仁も3レース全てでポイントを獲得した。

Result

35 Driver 中村 仁 JIN NAKAMURA

モビリティ中京 TOM'S 320 TGR-DC



	Rd.13	Rd.14	Rd.15	Driver Rank
予選	5位	7位	5位	▶ 3位
決勝	5位	4位	6位	

	Rd.13	Rd.14	Rd.15
予選タイム	P5/1'22.757	P7/1'22.904	グリッドは第13戦の決勝レース結果
ベストタイム	P5/1'25.025	P4/1'24.121	P6/1'25.323



36 Driver 野中 誠太 SEITA NONAKA

PONOS Racing TOM'S 320 TGR-DC



	Rd.13	Rd.14	Rd.15	Driver Rank
予選	4位	5位	4位	▶ 2位
決勝	4位	-	4位	

	Rd.13	Rd.14	Rd.15
予選タイム	P4/1'22.746	P5/1'22.736	グリッドは第13戦の決勝レース結果
ベストタイム	P4/1'24.979	P-/1'50.765	P4/1'25.141



37 Driver 古谷 悠河 YUGA FURUTANI

Deloitte HTP TOM'S 320



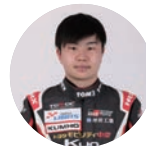
	Rd.13	Rd.14	Rd.15	Driver Rank
予選	8位	4位	7位	▶ 7位
決勝	7位	3位	9位	

	Rd.13	Rd.14	Rd.15
予選タイム	P8/1'22.860	P4/1'22.711	グリッドは第13戦の決勝レース結果
ベストタイム	P7/1'25.321	P3/1'23.947	P9/1'26.213



38 Driver 小林 利徠斗 RIKUTO KOBAYASHI

モビリティ中京 TOM'S 320 TGR-DC



	Rd.13	Rd.14	Rd.15	Driver Rank
予選	3位	3位	3位	▶ 4位
決勝	3位	-	3位	

	Rd.13	Rd.14	Rd.15
予選タイム	P3/1'22.435	P3/1'22.518	グリッドは第13戦の決勝レース結果
ベストタイム	P3/1'24.649	P-/1'49.498	P3/1'25.306



予選



Qualifying detail

**ライバルの先行を許すも
予選1回目・2回目ともに
2列目グリッドを獲得。**

2024年シーズンも後半戦に突入したスーパーフォーミュラ・ライツ。今回の舞台は岡山国際サーキットだが、小林と中村にとってはフォーミュラカーでの走行は初となるため、12日(木)と13日(金)の練習走行でコースの習熟に努め、経験のある野中と古谷はマシンのセットアップを進めていった。

14日(土)10時10分から予選1回目がスタート。今回はライバルチームが練習走行から速さを見せており、そこに少しでも追いつくことを目標としたが、トップから0.7秒以上引き離される結果に。小林が3番手とチーム最上位を獲得し、野中、中村と続いた。10分のインターバルを挟んで行われた予選2回目では、各車とも微調整を行ってピットを後にした。ここでは古谷が1回目の8番手から順位を上げ、4番グリッドを確保。小林は1回目について3番手につけ、トップとの差0.396秒に縮めた。また野中は5番手、中村は7番手から決勝での逆転を目指す。

After Qualifying

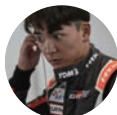


**セッティングの微調整が
うまくいきませんでした。**

ドライバー 中村 仁

35

金曜日の走行で色々としりごみをして、最後の走行ではポジティブな感じで終わることができましたが、予選ではトップに大きく差をつけられました。その差を縮めるべくQ2で微調整しましたが効果は得られず、悔しい予選となりました。



**決して悪いわけではないが、
ライバルとの差が大きい。**

ドライバー 野中 誠太

36

すごく調子が悪いわけではなかったのですが、ライバルに離される展開となりました。金曜日からタイムを更新できていますが、Q2では思ったほどタイムを縮められなかったところもあり、全体的に難しい予選となりました。



**まずは1レース目で、
ポイント圏内を目指します。**

ドライバー 古谷 悠河

37

Q1は金曜日から悩まされていたブレーキがロックする症状が出て、アタックを含めて上手くまとめることができませんでした。Q2に向けて微調整をしたことが良い方向に行ったおかげで、ライバルたちがタイムを落としているなか、縮めることができました。

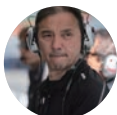


**予選3番手ではあるけど、
トップとの差は大きい。**

ドライバー 小林 利侖斗

38

フォーミュラカーで岡山を走るのが初めてで、コースの習熟をしながら走行セッションを進めていきました。予選を終えて、クルマもドライバーも改善の余地があると思っていますが、前の選手の走りを参考にしながら、決勝3レースで経験を重ねたいです。



決勝のスタートダッシュで、うまく前に出たいですね。

チーム監督 山田 淳

今週はライバルの小出峻選手が異次元の速さをみせていて、そこに届くのが難しい状況でした。それでも何とか2番手を狙いにいきましたが、各車ともアンダーステアの症状に悩まされていたのと、Q2ではコンディションの変化でタイムを更新できませんでした。

Rd.13 ●天候：晴れ ●気温：33℃ ●路面温度：48℃
Rd.14 ●天候：曇り ●気温：26℃ ●路面温度：31℃
Rd.15 ●天候：晴れ ●気温：31℃ ●路面温度：40℃

決勝



Qualifying detail

**小林が2レースで3位表彰台。
Rd.14では古谷が追い上げて
今季2度目の表彰台に上がる。**

14日(土) 14時30分から25周で争われたRound13 決勝は気温30℃を超える真夏日のなかでレースがスタートした。2列目グリッドから逆転を狙った小林と野中だったが、1周目での逆転は叶わず。その後も必死にライバルを追いかけたが、その差を埋めることができず小林が3位、野中が4位フィニッシュ。中村が5位で続き、古谷は順位をひとつ上げて7位でレースを終えた。

Round14 スタート前に雨は止んだものの朝から降った雨の影響で、路面は少し濡れている状態で18週のレースが始まった。1周目から後続でアクシデントが発生したためセーフティカーが導入され、5周目に解除されたが、6周目のアトウッドカーブで小林と野中が接触を喫し、ともにリタイヤ。これで順位を上げた古谷が今季2度目の3位表彰台。中村が4位に続いた。

13時55分からのRound15(18周)も、4台が逆転トップを狙ったがライバルの前に出ることは叶わず、小林が3位に入り、野中が4位、中村が6位となった。

After Race

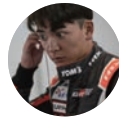


**次戦に向けて改善が必要な点は、
しっかり取り組んでいきたい。**

ドライバー 中村 仁

35

フォーミュラカーで初めて岡山を走りましたが、良いところが少なかった週末でした。走り出しでライバルと大きな差がついた状況から始まって、最終的にいくらかは改善できたというところはポジティブだったかと思います。



**今週はスピードが足りず、
それが焦りの原因となりました。**

ドライバー 野中 誠太

36

シリーズを争っている自分としては反省点が多かったのですが、次戦の鈴鹿は得意ですし、今回、ライバルが速かったように、次回は逆の状況になることもあり得ます。常に最大限のパフォーマンスを引き出すことに集中していきたいです。



**3レース目の苦戦については、
しっかり原因を究明したい。**

ドライバー 古谷 悠河

37

2レース目で表彰台に上がることができて、その流れで3レース目に向かったのですが、序盤からグリップを感じられず苦しい展開となりました。前半3大会でクルマ的に良くなかったところを修正して臨みましたが、満足のいく結果は得られませんでした。

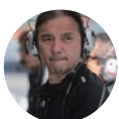


**今回経験したことを
次戦に活かしていきたい。**

ドライバー 小林 利徠斗

38

フォーミュラカーで岡山を走ったことがない状態で今週末が始まって、限られた時間で何とか形になって、ある程度は通用するところまで持って行けたので、この経験を他のサーキットでも活かしていきたいと思っています。



次の鈴鹿は3レースとも、表彰台を独占できるようにしたいです。

チーム監督 山田 淳

昨年につき、我々にとっては悔しい大会となりました。ライバルのクルマと比べて、我々のクルマはトータルで負けている点が課題であり反省点です。来年の岡山大会では、このようなことが起きないように万全の準備をし挑みます。また3レース目の古谷選手には申し訳ないことをした、我々チームのエラーです。この悔しさをバネにして気持ちを切り替え頑張ってもらいたいです。

Race Scene



トヨタモビリティ中京

KUO
GROUP

Deloitte. **PONOS**



坪井工業



損保ジャパン

東京アーバンコンサルティング



広島トヨペット
HIROSHIMA TOYOPET TECHNICA

HTP Racing

Vバンテリン

PET #3E

LAC

S&D
TAMA GROUP

EDIFICE
CASIO

"ART"

TGR-DC
TGR Driver Challenge Program

GR TOYOTA
GAZOO
racing

TRD

ThreeBond

PFC
BRAKES

ENKEI